

◆1 年 SS リテラシー (9 月) 先輩に学ぶ、本校卒業生「キャンパスライフカフェ」



2 学期も始まってすぐに本校卒業生が講師になって、大学生活や、大学生になるために必要な事を講話する「キャンパスライフカフェ」が行われました。

20 人ほどの卒業生が、理系では「農学部」「保健学科」「医学科」「工学部」「理学部」の現役の大学生が、大学での学びの楽しさや、大学生になるために頑張ったことなどを熱心にお話

してくれました。



1, 2 年生は興味のある分野で 2 カ所を回ることができ、貴重な体験になりました。

理数科 1 年は S S リテラシーの授業で行います。「S S リテラシーノート」にいろいろメモを取り、真剣に聞き入っていました。

医学部に今年現役で合格した儀間君は、日頃の授業の大切さや、受験勉強を計画的に進めること、模擬試験の

結果を使って弱点を克服することなど、有益な情報をめいっぱい後輩に伝えていました。

(本校卒業生 琉大農学部 1 年講師)

◆1 年 SS リテラシー (10 月)

10 月 10 日・15 日で 1 年理数科クラスごとに S S リテラシー地学編を行いました。

本校は 2 年生全員で沖縄の北部自然を中心とした「理科野外実習」を 10 月下旬に行っています。

今回はその資料も一部活用し、地層の形成・化石について各自の知識の確認を確認し、右図(琉大作成:琉球列島の自然)を見ながら沖縄の地層について考える授業を行った。また、リテラシーの共通テーマ理科で「考古学」分野を学ぶことにした。

生徒は大陸プレートの動きにより、海中で起こった地層形成が、古い年代～新しい年代で帯状になるのはなぜか？意見を出し合いました。

また、化石については、「知っている化石の種類は？」

「化石を学ぶ事で何が分かるの？」など地学分野の基本的な学習内容から、「港川人の遺跡の化石にはどのようなものが含まれているか？」「港川人は何を食べて



(資料 「琉球列島の自然、他」)

沖縄本島の地層の特徴

代	紀	世	絶対年代	地層名	特徴	その他
新	第四紀	更新世	1万7年	琉球石灰岩	島のまわりの浅い海に発達したサンゴが堆積 コーラル(石ぐら)、裏石(港川)、トラパーチン(平敷瀬)	↑
		鮮新世	170万年	新地層	凝灰岩を含む泥岩、化石が豊富	北部と慶良間は大きな島

いたか？」など、考古学を考える上で重要な、化石を使って太古の生活を想像し、調べることを考えてもらいました。

今後、1 年理数科は南部の自然フィールド巡検学習も導入できたら、生徒もますます、地域の自然に興味関心を強く持つと思います。

(港川人に興味がある生徒へ→「世界最古の釣り針」

<https://readyfor.jp/projects/koukai2/announcements/84989>)